



豊玉二中だより

令和元年度 第3号
発行日 6月3日(月)
練馬区立豊玉第二中学校
校長 神山 信次郎

「チーム豊玉二中」

副校長 木原 賢三

五月晴れの素晴らしい天候の中、5月25日(土)に第58回運動会が開催されました。「令和初 魅せろ 豊二団結力!」のスローガンの下、3年生を中心に素晴らしい演技や競技が行われました。特に、中学校生活最後となる3年生の「大百足競争」は迫力満点で、みんなの気持ちを1つにして力強く疾走する姿は、1・2年生ばかりか、保護者の方も思わず応援に力が入り、みんなを感動させていました。3年生が競技や演技だけでなく、係の仕事に責任をもって真剣に取り組む姿や仲間を必死に応援する姿は、下級生も数多く学ぶことがあったと思います。ぜひこの素晴らしい豊二中の伝統を受け継いでいってほしいと思います。



さて、今年、ラグビーのワールドカップが日本で開催され、日本の15人のメンバーが一致団結してフィールドで躍動する姿が期待されます。私がラグビーに惹かれるのは、「一人はみんなのために」という言葉が好きだからです。ラグビーというスポーツは、様々な特性をもったポジションの選手がそれぞれの持ち味を発揮し、勝利をめざします。自分のためではなく、常に仲間のために無心でプレーする姿が、チームを鼓舞し、メンバーの心を互いに前に動かし、時には勇気を与えていきます。「一人はみんなのために」の後に「みんなは一つの目的のために」と繋がります。それぞれの個性を活かし、みんなで一つの目標に向かって前に進んでいくことができるスポーツがラグビーです。

今年の運動会では、運動の得意な生徒だけでなく、苦手な生徒も真剣な姿勢で競技に臨み、最後まであきらめずに取り組む姿やすべての競技で一生懸命に声援を送る生徒たちの姿など豊二中の生徒らしい素敵な姿を様々な場面で目にすることができました。特に、全校種目の「大縄跳び」では、担任の先生の必死の応援の元、失敗しても失敗してもあきらめることなく、全員がチャレンジし続ける姿は観ていて感動しました。クラスみんなで心一つにして勝利のために最後まで全力を尽くす姿が数多く見られ、「一人はみんなのために みんなは勝利のために」が実現できた運動会でした。また、今年は大変暑さが厳しくなりましたが、第一町会のご協力によりすべての生徒席にテントを張り、熱中症対策を行うことができました。そのため、体調を崩す生徒もなく、すべての生徒が全力で運動会を満喫することができていました。生徒・教職員だけでなく保護者・地域の方々がより良い学校づくりという目標に向かって一体となり「チーム豊玉二中」として大成功の運動会でした。

今年の運動会は、一人一人の生徒が達成感・充実感を味わう最高の成果をあげることができました。今回の目標に向かって努力する経験をこれからの学校生活に、そして、今後の生活に生かしていってほしいと思います。

多くの保護者、地域の方々に参観していただき、運動会を盛大に行うことができました。今後とも生徒の大きな成長のために学校の教育活動をすすめて参りたいと思います。ありがとうございました。